

クイズに特化した掲示板の作成

Making a Bulletin board specialized for Quizzes

竹内 俊彦^{*1}, 加藤 由樹^{*2}, 加藤 尚吾^{*3}, 館 秀典^{*4}
Toshihiko TAKEUCHI¹, Yuuki KATO^{*2}, Shogo KATO^{*3}, Hidenori TACHI^{*4}

^{*1} 東京福祉大学 教育学部

^{*1} Department of education, Tokyo University of Social Welfare
Email: totakeuc@ed.tokyo-fukushi.ac.jp

^{*2} 相模女子大学 学芸学部 メディア情報学科

^{*2} Department of Information and Media Studies, Sagami Women's University Faculty of Arts and Sciences
Email: y-katou@star.sagami-wu.ac.jp

^{*3} 東京女子大学 現代教養学部 人間科学科 コミュニケーション専攻

^{*3} Department of School of Arts and Sciences Division of Human Sciences, Tokyo Woman's Christian
Email: shogo@lab.twcu.ac.jp

^{*4} 東京福祉大学 社会福祉学部

^{*4} Department of Social Welfare, Tokyo University of Social Welfare
Email: hitachi@ed.tokyo-fukushi.ac.jp

あらまし: 筆者らは「クイズはインフォーマル・ラーニングに有効なフォーマットである」との考えから、クイズに特化した掲示板の開発を進めている。先行して行った研究では、先端的なクイズ作者の属性調査を行い、またその一部にはインタビューを行うことで、クイズ掲示板に必要な機能を絞り込み、開発を開始した。本研究ではクイズに特化した掲示板について、開発したところまでを紹介し、その機能を説明する。

キーワード: クイズ, インフォーマル・ラーニング, 掲示板

1. はじめに

筆者らはクイズを、「知的好奇心を動機とする自発的な学び」の一環として、理想的な形態であると考え、クイズに特化した掲示板を開発したいと考えている⁽¹⁾。

かつて(2006年~2010年)「人力検索はてな」というQ&Aサイトでは、質問に回答者が回答しても、その回答を質問者が一週間はオープンしないでおくことができたため、先端的なクイズ作者が集まり、自作の新作クイズを発表し合っていた時期があった。しかし2011年5月30日のリニューアルによって、「人力検索はてな」は通常の掲示板と同様、回答者の書き込みが、すぐに公開されるように変更された。その結果「人力検索はてな」新作クイズを発表する人が減少した。

本研究の最終目標は、さまざまな創作クイズを発表できるような、クイズの出題に便利な機能を強化した掲示板を作成することである。なお「先端的なクイズ作者」とは、新作というだけでなく、新たなジャンルも生み出すようなクイズ作者のことである。

開発に先立つ予備調査として、クイズ掲示板に必要な機能を絞り込むために「人力検索はてな」においてクイズを創作し発表している人にアンケートを依頼した。具体的には「人力検索はてな」で新作クイズを発表していた10人(と、研究者の一人のデータ)からの100の質問項目からなるアンケート結果を行った。⁽²⁾ その結果、平均年齢は40.5歳、ほとん

どが大卒以上という高学歴、クイズの同時投稿をしていないということがわかった。またそのサイトにはどのような機能が必要かを調べるために、クイズ作者7名に平均2時間程度のロング・インタビューを行い、最後の30分間では、研究者が必要と想定した20個の機能をリストアップし、各機能をどの実装して欲しいか10点満点で回答させた。⁽³⁾ その結果を表1に示す。

表1 クイズ掲示板にクイズ作者が求める機能

No	クイズ掲示板の機能	平均値
Q01.	会員でなくてもクイズを閲覧できる	10.00
Q07.	出題者の出題履歴を、だれでも簡単に閲覧できる	8.71
Q12.	出題中のクイズと、過去のクイズがはっきり区分けされている	8.71
Q10.	画像・動画・音声などを用いた出題が可能である	8.57
Q04.	回答者の書き込みを、クイズの締切時刻まで公開しない	8.43
Q18.	各回答について出題者が個別にコメントできる	8.17
Q06.	回答者の回答履歴を、だれでも簡単に閲覧できる	8.14
Q08.	会員が、回答前に問題について質問し、出題者が答えることができる・コメント欄単独オープン	7.57
Q13.	悪質回答者をすみやかに排除できる	7.14
Q15.	問題のレーティングができる	6.71
Q02.	クイズの出題を許可すると明示している	6.57
Q17.	回答者のレーティングができる	6.43
Q19.	会員が、回答前に問題について質問し、出題者が答えることができる・コメント欄承認制	6.29
Q11.	クイズのジャンルで検索できる	6.14
Q20.	非会員でも回答前に問題について質問し、出題者が答えることができる・承認制	6.14
Q03.	クイズに特化した掲示板だと、ユーザに認知されている	6.00
Q16.	出題者のレーティングができる	5.71
Q05.	締切時になると、出題者があらかじめ登録しておいた正解を自動で発表できる	5.57
Q14.	悪質出題者をすみやかに排除できる	5.43
Q09.	非会員でも回答前に問題について質問し、出題者が答えることができる・コメント欄単独オープン	5.14

本研究では、表1で平均値が8点以上の機能について、すべて実装することを決めた。また8点未満の機能については、公開し運営しながら、ユーザの意見を反映させる予定である。

2. 開発した掲示板

開発中の掲示板の、クイズの出題・解答画面を図1に示す。

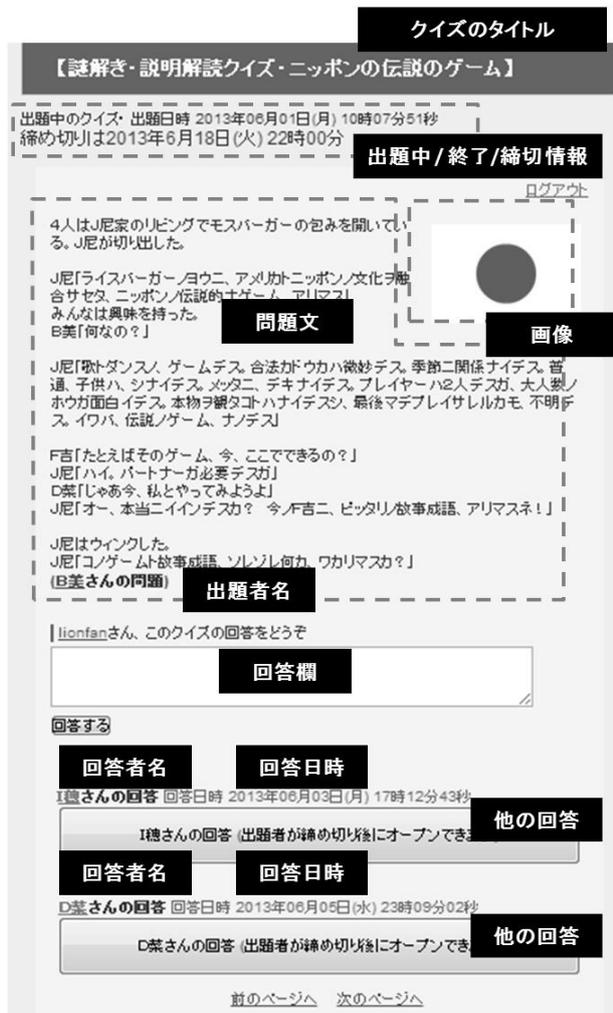


図1 クイズの出題・解答画面

問題文は画像とともに出題可能であり、画像をクリックすると拡大して示される。回答者の答えはすぐには表示されない。出題者が設定した締め切り時刻後に、出題者が随時、オープンすることになる。

出題日時と解答日時は、それぞれ問題文・回答の前に表示される。クイズでは同等の回答であった場合、先着で答えた人を高く評価する出題者もいるため、またヒントを出した場合、ヒントを見る前の回答なのか、ヒントを見た後の回答なのかの区別は重要であるため、出題日時と解答日時は必ず表示する。

出題者・回答者の名前をクリックすると、そのユーザの出題履歴や回答履歴が図2のように表示される。



図2 あるユーザの出題・解答履歴画面

またクイズの投稿画面を図3に示す。



図3 クイズの投稿画面

3. おわりに

クイズに特化した掲示板の開発中の画面を示した。今後もさまざまな機能を追加していく予定である。

参考文献

- (1) 竹内俊彦, 加藤由樹, 加藤尚吾: “有料会員制掲示板を利用したクイズ形式の学習スタイルの提案”, 日本社会情報学会第22回全国大会(JASI・JSIS 合同大会)研究発表論文集, pp.100-105 (2007).
- (2) 竹内俊彦, 加藤由樹, 加藤尚吾, “先端的なクイズ作成者の属性調査”, 教育システム情報学会研究報告, 27(2), pp.27-34, (2012).
- (3) 竹内俊彦, 加藤由樹, 加藤尚吾, “クイズ用掲示板にクイズ作者が求める機能の予備調査”, 教育システム情報学会研究報告, 27(2), pp.569-570, (2012).

謝辞

本研究は、独立行政法人日本学術振興会の科研費(基盤C「インフォーマル・ラーニングを促進するクイズに特化した掲示板の開発と評価」 課題番号24501203)の助成を得た。ここに感謝の意を示す。